

年度	歴代会長	主な出来事
昭和41	同	定期総会（4月東伯郡八橋小学校） 会則（教育、行財政、人事、給与の4専門部を新設） 第14回中国地区小学校長研究大会を10月鳥取県庁で開催する 研究大会（12月境港市境小学校）
昭和42	第14代 西尾 直實（鳥取・大正）	定期総会（5月倉吉市成徳小学校） 研究大会（10月気高郡浜村小学校） 校長会誌を復刊する（誌名・伽羅木） 夏期休業日数延長（35日）
昭和43	第15代 田邨 一郎（鳥取・日進）	定期総会（5月東伯郡八橋小学校） 研究大会（10月西伯郡淀江小学校） 教職員定数確保の標準法改正を提唱する
昭和44	第16代 大原 善郎（鳥取・明德） 第17代 竹内 恒次（鳥取・久松）	定期総会（5月鳥取市日進小学校） 研究大会（10月東伯郡赤碓小学校） 臨時総会（11月東伯郡松崎東湖園）
昭和45	第18代 柏木 正實（鳥取・遷喬）	定期総会（5月米子市就将小学校） 組織専門委員会を設置する 研究大会（10月倉吉市河北小学校） 全連小の応援を得て年限延伸の運動を展開する
昭和46	同	定期総会（鳥取市日進小学校） 給与部を人事部に含め調査研究部を設ける 研究大会（10月東伯郡桜小学校）
昭和47	第19代 加藤 元彦（鳥取・修立）	定期総会（米子国際ホテル） 第20回中国地区小学校長教育研究大会（10月米子市公会堂） 鳥取県事務教育振興大会（2月鳥取県庁講堂）
昭和48	同	定期総会（5月鳥取市遷喬小学校） 研究大会（10月教育研修センター） 勤務年限58歳延長が実現する 「人材確保法」運動の結果2月22日成立
昭和49	同	定期総会（5月米子市明道小学校） 研究大会（東伯郡桜小学校） 「教頭職法制化法」5月27日可決成立 夏期休業日数延長（40日）
昭和50	第20代 大島 哲夫（鳥取・明德）	定期総会（5月鳥取市遷喬小学校） 組織研究専門委員会を設置する 研究大会（10月東伯郡大栄小学校） 日本教育会鳥取県支部2月10日設立
昭和51	第21代 伊藤 貞博（鳥取・遷喬）	定期総会（5月米子市米吾ビル） 組織を改革、調査研究部を廃し給与部を設置 県校長研究大会に全連小・外川会長を呼ぶ（10月東伯郡大栄小学校） 主任制度実施 女教師の年限延長（52歳） 教育課程改善の答申
昭和52	同	定期総会（鳥取市遷喬小学校） 新学習指導要領の告示（7月） 研究大会（10月鳥取県福祉文化会館） 第3次教育給与と改善の設立（主任手当、校長特一等級の格付等）
昭和53	第22代 湖山健太良（鳥取・久松）	定期総会（米子市米吾ビル） 第25回中国地区小学校長教育研究大会（10月鳥取市民会館）
昭和54	同	定期総会（5月鳥取市日進小学校） 研究大会（10月東伯郡大栄小学校）
昭和55	同	定期総会（5月17日米子市県立米子図書館） 県校長会の組織を改変し、教育研究部、対策部、広報部を設置する 研究大会（10月17日 東伯郡大栄小学校） 勤務年限59歳延長が実現する
昭和56	第23代 小林 二郎（鳥取・久松）	定期総会（5月16日鳥取市日進小学校） 研究大会（10月8日倉吉体育文化会館） 生徒指導対策専門委員会設置（11月8日発足） 日本教育会全国大会（10月12日市民会館）
昭和57	同	定期総会（5月8日米子皆生温泉会館） 研究大会（10月12日倉吉体育文化会館） 学習状況調査（58年1月19日） 女教師の年限延伸（58歳）